

「京都 嵯峨野誕生物語」の中の明治時代の嵯峨野について

特定非営利活動法人 さらんネット

地域文化振興に貢献する事を主眼に「京都 嵯峨野誕生物語」を発刊致します。

※平成 30 年 2 月末予定。

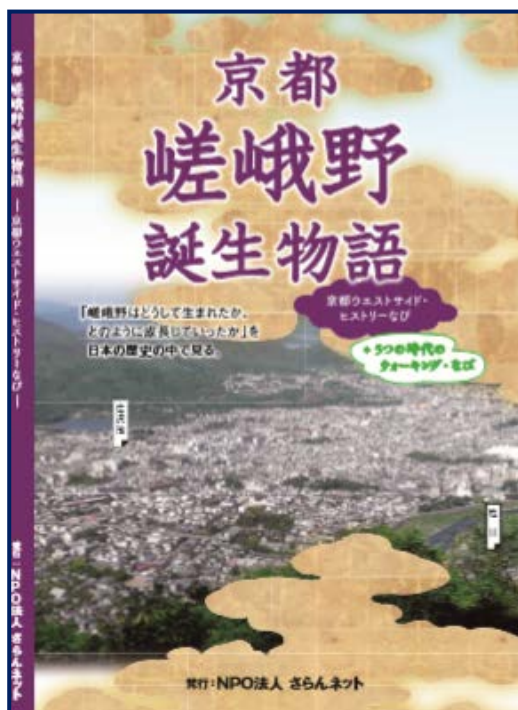
嵯峨野の過去の「痕跡」と先人達からの「贈り物」を、未来に引継ぐために、嵯峨野の歴史を知り、更に嵯峨野に興味を持って頂けるように、「観光」、「遺跡」、「歴史」の3つの視点で、日本史全体の中での嵯峨野の位置づけを記述します。

古代から中世、近世、近代それぞれの時代での「嵯峨野」を探索し、明治とともに、嵯峨野にも文明開化が訪れたことを語っています。

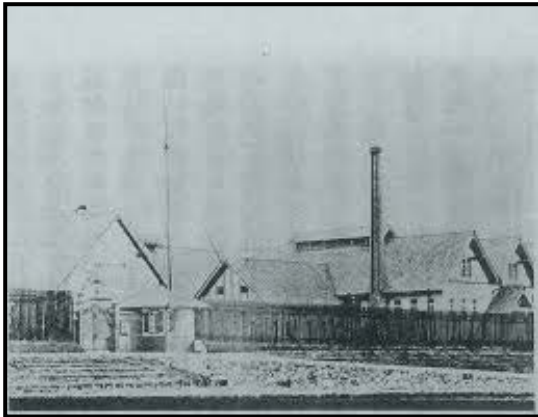
当法人の詳細は下記のURLをご参照ください。

<http://www.saga-arasiyama.jp/>

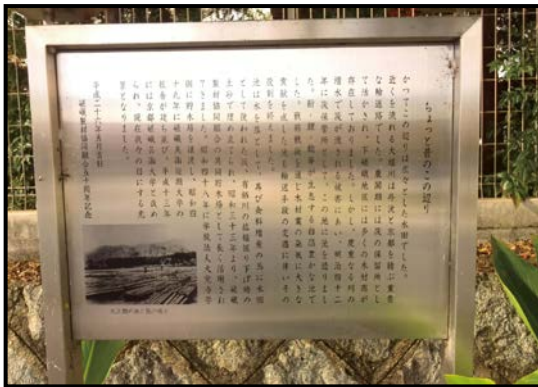
≪ 「京都 嵯峨野誕生物語」 一部のご紹介 ≫



「京都 嵯峨野誕生物語」表紙（A5版，114ページ，オールカラー）



明治9年、京都府2代目知事 榎村正直が建設した桂川東岸の葛野群梅津にあった「パーピル・ファブリック製紙工場」



明治京都の活性化の一つを担う建設用資材である丹波材の嵯峨貯木場。(現、嵯峨美術大学)



明治 33 年京都一園部間で開通した京都鉄道の保津峡トンネル。
建設には大変な苦勞があった。現在は、トロッコ列車が使用している。